

翻

刊

師範學校編輯

門3
號3670
卷

日本地誌略

明治七年
八月改正

積玉圃刻

日本地誌略卷之一



我日本國ハ、亞細亞洲ノ東部ニ位セル帝國ニシテ
 大地ヲ本州トシ、其餘四大島ト、數千ノ
 島嶼ヲ合セテ、一國ノ形勢ヲナス、
 本州ノ地ハ、最大ナリ、其西南ノ二大島ヲ四國、九
 州トシ、北ノ二大島ヲ北海道、樺太トシ、其他ノ島
 嶼ハ、壹岐、對馬、淡路、隱岐、佐渡、千島、琉球等ナリ、
 全國ノ形ハ、東北ヨリ、斜ニ西南ニ延ク、其長サ凡
 七百餘里、幅員二萬三千七百三十方里アリ、

東南ハ、太平海ニ面シ、西北ハ、支那海、日本海ヲ隔
テ、清國、朝鮮、及滿州ト相對シ、樺太ハ北隅ニ在
リテ、魯西亞ト界ヲ交ヘ、琉球ハ西南隅ニ在リテ、
臺灣島ト相望ム、

全國ニ大別シテ、畿内、八道トシ、又此八道ヲ別チ
テ、八十四國トシ、更ニコレヲ小別シテ、七百十八
郡トス、其人口凡三千三百十六萬九千八百歳入
三千百六十七萬六千四百石、

畿内 五國 山城 大和 河内 和泉 攝津

東海道 十五國 伊賀 伊勢 志摩 尾張 參河

遠江 駿河 甲斐 伊豆 相模 武藏 安

房 上總 下總 常陸

東山道 十三國 近江 美濃 飛驒 信濃 上野

下野 磐城 岩代 陸前 陸中 陸奥 羽

北前 羽後

北陸道 七國 若狹 越前 加賀 能登 越中

西越後 佐渡

山陰道 八國 丹波 丹後 但馬 因幡 伯耆

出雲 石見 隱岐

山陽道 八國 播磨 美作 備前 備中 備後

安藝 周防 長門

南海道 六國 紀伊 淡路 阿波 讚岐 伊豫

土佐

西海道 十一國 筑前 筑後 豐前 豐後 肥前

肥後 日向 大隅 薩摩 壹岐 對馬

北海道 十一國 渡島 後志 石狩 天鹽 北見

膽振 日高 十勝 釧路 根室 千島

畿内

山城國

東南ハ、近江、伊賀、大和ニ接シ、西北ハ、河内、攝津、丹

波ニ界シ、連山三面ヲ圍ミ、中間ヨリ、南方ニ通シ

テ、地勢較平坦ナリ、乙訓、葛野、愛宕、紀伊、宇治、久世

綴喜、相樂ハ八郡アリ、

比叡山ハ、京都ノ東北隅ニ聳テ、近江ニ跨ガレ、其

山脈南ニ亘ルテ、伊賀、大和ノ境山ハ、鷲峰ニ置

諸山ニ連レリ、

愛宕山ハ、京都ノ西北隅ニ在リ、丹波ニ亘レル

高山ナリ、高雄山、嵐山ノ諸山、其麓ニ連リテ、山氣南方ニ赴ケリ、

鞍馬山ハ、京都ノ正北ニ當リテ、比叡、愛宕兩山ノ間ニ位ス、其後ニ峙テルヲ、大悲山トス、

宇治川ハ、源ヲ近江ノ琵琶湖ヨリ發シ、宇治ニ至リテ、漸ク大河トナリ、紀伊、久世兩郡ヲ界シ、伏見ヲ

過ギテ、淀川トナル、
桂川又大堰川ハ、丹波ヨリ來リ、愛宕ノ麓ヲ過ギテ、高

雄川ヲ併セ、嵐山ニ沿ヒテ南ニ流レ、久我ニ至リ、
鴨川併セ、淀川ニ入ル、

加茂川或鴨川ニ作ルニ三源アリ、一ハ百井峠ヨリ出テ、大原、八瀬及高野ヲ過ギ、至ル所皆其地ヲ以テ

稱セラレ、一ハ小鹽山ヨリ出テ、鞍馬、貴船ヲ過ギ、至ル所亦其地ヲ以テ稱セラレ、一ハ丹波ノ界

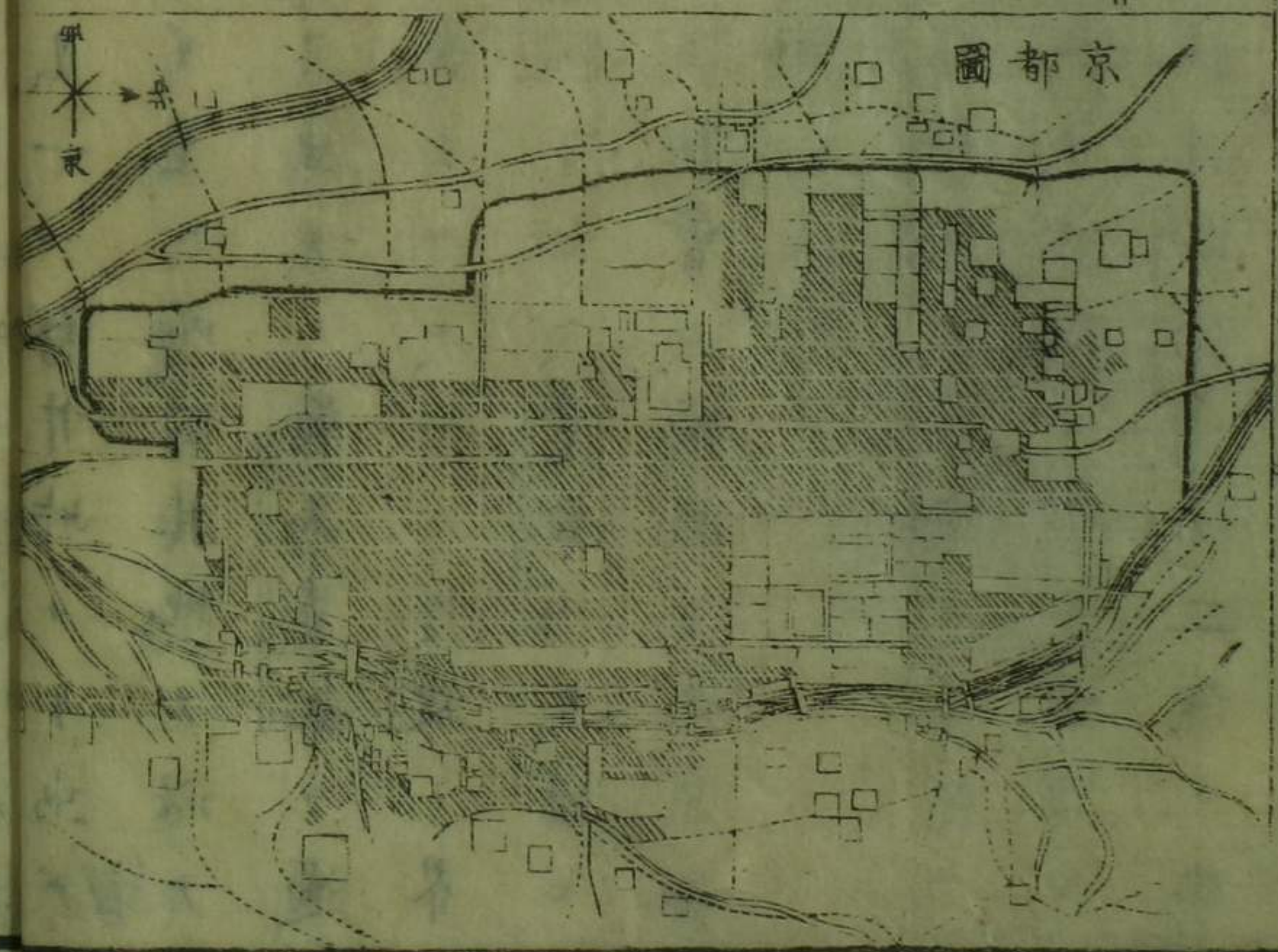
ヨリ出テ、東流シテ、中津川ト云ヒ、貴船川ヲ併セテ、加茂ニ至リテ、高野川ト相會シ、南流シテ、京都

ヲ貫キ、鳥羽ニ至リテ、桂川ニ入ル、
長田川ハ、伊賀ヨリ來リ、名張川ハ、大和ヨリ來リ、

二流、笠置山ノ麓ニ會ヒテ、木津川トナリ、曲流シテ北ニ赴キ、淀ニ至リテ、桂川、宇治川ノ二流ト相

合シ、一大河トナル、是ヲ
淀川ト云フ、西流シテ、攝
津河内ノ間ニ入ル、

京都ハ平安城ト稱シ、
日本三府ノ其一ニシテ
天延曆年間ヨリノ帝
京ナリ、昔ハ左京右京
ヲ分チ、九條ノ大路ヲ
通シテ、皇居其北ニ位
シ、規模宏大ナリレガ、



今ハ唯左京ノミナレトモ、尚舊規ノ存シテ、街
衢端正ニ、道路洞通シ、加茂川ヲ以テ、其内外ヲ
分チ、西ヲ洛中ト云ヒ、東ヲ洛外ト云フ、架スル
ニ、荒神只三條、四條、五條ノ四大橋ヲ以テ、人、洛
外ハ、西ニ嵐山アリ、東ニ祇園、清水等アリ、公
園トス、山水明媚、風色絶佳ナリ、
伏見ハ、京都ヲ距ルコト僅ニ三里ニシテ、殿
ヲ以テ名アリ、市街ハ、淀川ニ臨ミテ、東西往來
要路ニ當リ、運輸便ナリ、
物産ハ、白川石、宇治茶、鴨川漆、西陣織、清水燒、松茸

筍、蕪、水菜、糸物、漆器、針、扇等ナリ、

大和國

東南ハ、伊賀、伊勢、紀伊ニ界シ、西北ハ、河内、山城ニ接ス、添上、添下、平群、廣瀨、葛上、葛下、忍海、宇智、宇陀、城上、城下、高市、十市、山邊、吉野ノ十五郡ナリ、南部半國ハ、吉野郡ニ屬ス、郡中皆山ニテ、紀伊ノ境ニ至レハ、重嶺幽谷、人跡ナシ、國ノ北部ハ、連山東西ニ限リ、中間ノ地ハ、平遠ニテ、岡陵處々ニ起伏セリ、

金峰山ハ、吉野郡ニ聳エタリ、高山ニテ、大臺原山コレニ次グ、其原ヲ南中北ノ三分ツ、南ハ紀伊ニ連リ、東ハ伊勢、伊賀ニ跨ガレリ、

國見、高見、天岳、諸山ハ、大臺原山ノ東北ニ屏列シテ、伊賀、伊勢ノ境ニ擁ス、

葛城、二上、信貴、生駒ノ諸山ハ、西ニ連リテ、河内ノ國境ニ綿亘ス、

天川、金峰山ヨリ發シ、山間ヲ曲流シテ、十津川トナリ、南ニ赴キ、深谷間ノ衆流ヲ併セ、紀伊ニ入リテ、新宮川トナル、

吉野川ハ、大臺原山ヨリ出テ、國中ヲ貫キ、西流

シテ、紀伊ニ入り、紀川トナル、

初瀬川ハ、國ノ中央ノ諸川ヲ聚メ、長谷三輪ヲ歴

テ西流シ、二階堂ニ至リテ、奈良川、相川、廣瀬川ト

會シ、更ニ龍田川ヲ併セテ、河内ニ入り、大和川ト

ナル、

奈良川ハ、山城ノ北境ヨリ發シ、衆流ヲ併セテ、奈

良郡山ヲ過ギ、南流シテ、初瀬川ニ會ス、相川及廣

瀬川ハ、國ノ西境ヨリ發シ、北流シテ、亦初瀬川ニ

會ス、

黒田川ハ、東境ノ諸水ヲ集メ、東流シテ、伊賀ニ入

リ、名張川ニ會シテ、更ニ

北ニ赴ク、

奈良ハ、又平城ニ作リ

或ハ南都ト稱ス、元明

帝以下七代、七十餘年

間ノ帝京ニシテ、市街

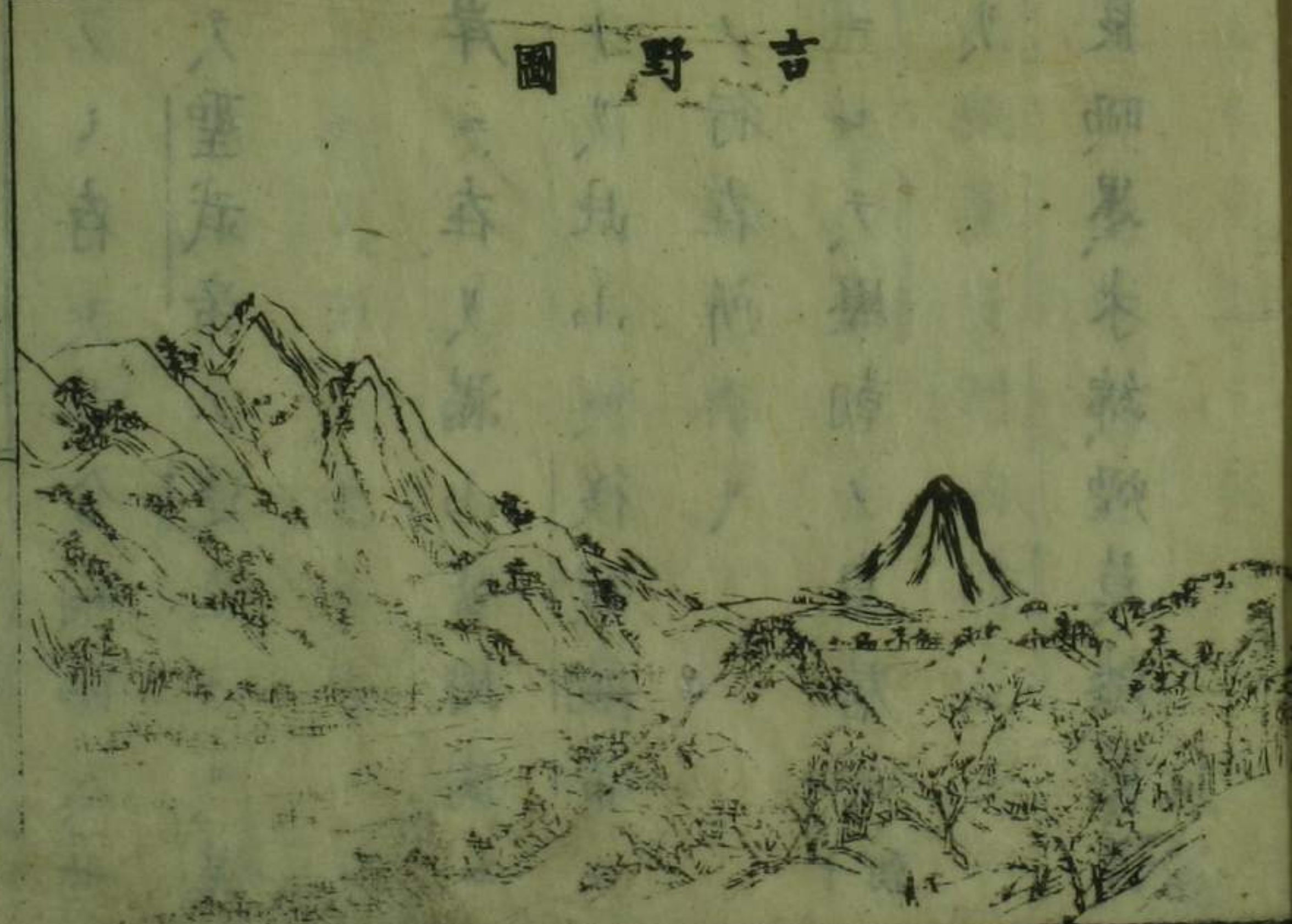
今猶舊模ヲ存セリ、春

日山其東ニ峙テ、奈良

川其西ヲ流シ、舊西大

寺、興福寺等ハ、大伽藍

吉野國



アリシカ、今ハ東大寺ノミ存シ、其金銅佛、世ニ奈良ノ大佛ト稱シテ、聖武帝ノ建立ナリ、其他舊蹟尚多シ、

吉野山ハ、吉野川ノ南岸ニ在リ、滿山皆櫻樹ニ

シテ、花時ノ風景最美ナリ、此山ハ、後醍醐帝ヨ

リ、南朝三世、五十餘年ノ行在所ナリ、

此國ハ、神武帝基業ノ地ニシテ、歷朝ノ皇居四十七朝

山陵三十處、處處々ニ散在セリ、

物産ハ、吉野葛、吉野紙、奈良晒墨、木綿、煙草、漆、藥品、

木材、銅、水晶等ナリ、

河内國東大寺、東大寺ノ東、大和國ノ南、

東南ハ、山城、大和、紀伊ニ接シ、西北ハ、和泉、攝津ニ

界ス、錦部、石川、古市、安宿、大縣、高安、河内、讚良、淡田、

交野、若江、澁川、志紀、丹南、丹北、八上ノ十六郡アリ、

東南ハ、群山連亘シ、西南ハ、地勢平行ナリ、

金剛山大和、山城大和ト云フ、東南隅ニ峙テハ、高山ニ

シテ、此ヨリ山脉左右ニ分レテ、其北ニ赴ク者ハ、

二上、信貴大和、出大和、部大和ノ連山ナリ、西ニ赴ク者ハ、十

早峠、紀見峠、及、岩湧、天野ノ諸山ナリ、

大和川ハ、大和島リ来リ、國ノ中央ヲ貫キ、西流シ、

天狹山池ノ下流ヲ併セ、和泉攝津ノ間ニ入ル、
東條川ハ、金剛山ヨリ出テ、西條川ハ、藏王峠九重
峠ヨリ發シ、二水相會シテ、石川トナリ、北流シテ、
大和川ニ入ル、

天野川ハ、天野山ヨリ發シ、狹山池ニ入り、再出テ
テ北ニ赴キ、大和川ニ入ル、

長瀬、玉串ノ兩川ハ、大和川ノ分派ニシテ、共ニ國
ノ西北ヲ環流シ、大和ノ境ナル、哮峰ヨリ出ル所
ノ、寢屋川ト相會シテ、西ニ赴キ、攝津ニ至リテ、淀

川ニ注グ、天川、船橋川モ、亦東北隅ノ諸水ヲ集メ
テ、淀川ニ入ル、

淀川ハ、山城ヨリ來リ、國ノ北境ヲ西流シテ、攝津
ニ入ル、

物産ハ、木綿、茶、煙草、道明寺糶、諸藥品等ナリ
和泉國

東南ハ、河内、紀伊ニ界シ、西ハ海ニ向ヒ、北ハ攝津
ニ接ス、大鳥、和泉、泉南、日根ノ四郡アリ、此國ハ、畿
内中ノ小國ニシテ、東南ニ數山アリ、西北ノ地ハ、
皆平坦ナリ、

妙見、槇尾、牛瀧、葛城、大鳴、雨森ノ諸山、東南ニ屏列

シテ、紀伊ノ境ヲ最峻嶮ナリトス、

石津、大津、牛瀧、津田、男里、岡田等ノ川ハ皆連山ノ

間ヨリ發シ、直流シテ海ニ入ル、平時ハ沙礫ニシ

テ、唯霖雨ニ水流ヲ見ルノミ、

西ハ、淡路島ニ對シテ、一ノ内海ヲナス、コレヲ茅

渚、海ト云フ、紀伊、攝津其南北ヲ限レリ、

大和川ハ、河内ヨリ來リテ、北境ヲ限リ、堺浦ニ至

リテ、海ニ入ル、

堺浦ハ、大和川ノ口ニ跨リ、攝津ノ境ニ在リ、古

來有名ノ港津ニシテ、昔ハ外國ノ互市場タル

其運漕ニ甚便ナルヲ以テ、市街猶富盛ナリ、

物産ハ、木綿、麻、布、鐵器、刀、庖刀類、櫛、織物、朱、丹、茶等

攝津國

東南ハ、山城、河内、和泉、及、海ニ接シテ、西北ハ、播磨、

丹波ニ界ス、佳吉、東成、西成、島上、島下、豐島、河邊、武

庫、菟原、八部、有馬、能勢、十二郡アリ、

淀川ハ、山城ヨリ來リ、河内ノ境ニ浴ヒ、西流シテ

江戶海に至リ、十派ヲ分ツ者、天神崎川トス、直ニ西

流シテ、尼崎ニ至リ、海ニ入ル、正流ハ、南下シテ、長

柄ニ至リ、又一派ヲ分ツ、是ヲ中津川ト云ス、即古ノ長柄川ナリ、亦西流シテ、海ニ入ル、正流ハ此ヨリ更ニ西南ニ赴キ、大坂ヲ貫キテ、安治、木津ノ兩川トナリ、天保山ニ至リテ、海ニ入ル、

淀川以南ノ地ハ、平坦ニシテ、東ハ河内ニ接シ、南ハ大和川ヲ以テ、和泉ヲ限リ、西ハ海ニ臨ム、其西隅ヲ住吉浦ト云フ、

淀川以北ノ地ハ、岡陵相連リ、此境ニ至リテハ、其山岳皆峻嶮ナリ、

池田川又猪ハ、丹波ノ境ヨリ發シ、箕面、石登諸瀑布ノ下流ヲ併セテ、池田、伊丹ノ間ヲ過キ、神崎川ニ會シテ、海ニ入ル、

武庫、御影、摩耶、再度等ノ諸山ハ、西部郡中ニ在リテ、東西ニ連リ、一帯ノ山脈ヲナシテ、南ハ海ニ面ス、北ハ即有馬郡ナリ、

有馬郡ハ、西北ノ國境ヨリ、東能勢郡ニ連リ、山嶺起伏ス、此地ノ温泉、古ヨリ名アリ、

波豆川、有馬川ハ、二水相會シテ、有馬郡中山間ノ諸水ヲ併セ、南流シテ、生瀬川トナリ、西宮ニ至リ、武庫ノ海ニ入ル、武庫川是ナリ、

津戸川、蘆屋川、生田川、湊川、刈藻川、諸水ハ源
武庫、摩耶諸山ハ、澗谷ヨリ發シ、直流シテ、海ニ入
ル、但平時ハ水流ヲ見ズ、

須磨浦、國西隅ニ在リテ、前ハ海ヲ隔テ、淡

路島ニ對シ、後ハ鐵拐嶽、鉢伏山、鶴越等ノ諸山ヲ

負ヒ、海濱ハ、白沙青松相映シテ、西播磨ノ舞子濱

ニ連リ、風光明媚愛スベシ、古ヨリ勝地ヲ以テ稱

ヒラル、

大坂ハ、古ノ浪速ノ地ニシテ、三府ノ一ニ居ル

仁徳帝ノ都址ナリ、其城ハ、豐臣氏ノ建築ニシ

テ、高壁深溝ノ名アリ

シガ、今ハ唯牙城ヲ存

スルノミ、市街淀川ノ

南北ニ跨リ、其水ヲ引

キテ、東横堀、西横堀等

ノ溝渠トス、支溝ハ、縦

横疏通シテ、長堀道頓

堀等トナリ、大川淀川ノ正

流ヲニハ、架スルニ難

波、天滿、天神ノ三大橋



ヲ以テス、其他橋梁ノ多キコト、勝ゲテ數フベ
カラズ、北ニ天満宮ノ大社アリ、南ニ天王寺ノ
巨刹アリテ、生玉、高津、座摩等ノ諸社ハ、市中ニ
散在シ、公園ノ設ニ供スルニ足リ、西ニ松島
アリテ、外國ノ互市場タリ、此府ノ地勢西ハ南
海及中國ノ要樞ニ當リ、船舶河口ニ輻湊シ、百
貨流通、運輸便利ニシテ、皇國第一、繁富ノ地ナ
リ、

神戸ハ、五港ノ一ニシテ、湊川ヲ夾ミ、兵庫ト

接シ、和田岬、其西ニ斗出シテ、灣内巨艦數百艘

ヲ泊セシムベキ、外國互市場中ノ佳港タリ、神

戸、兵庫兩地ノ市街、櫛比シ、湊川神社、福原郡趾、

皆其間ニ在リ、

物産ハ、御影石、池田炭、伊丹酒、紙、鹽、油、木綿、陶器、

筵、檜席、真田織、一閑張、薄雲、昆布等ナリ、



東海道

伊賀國

東南ハ、伊勢ニ界シ、西北ハ、大和山城近江ニ接ス、
 伊賀山田阿拜名張ノ四郡アリ、
 天岳ハ、西南ニ峙テ、伊勢大和ノ間ニ跨カリ、其山
 脈左右ニ延キテ、東ハ七見、長野笠取等ノ諸嶺ニ
 亘リテ、西ハ、黒田峠ニ連リ、山岳重疊ニテ、四境ヲ
 環擁シ、國中ニモ亦赤目四十八瀧、赤岩尾等ノ諸
 溪澗アリテ、山勢起伏、陵谷相連リ、
 黒田川ハ、大和ヨリ来リ、北流シテ、名張川ニ入リ、



黒田峠ノ麓ニ沿ヒテ復大和ニ入ル、
 長田川ハ七見嶺ヨリ出デ、西北ニ流シ、國ノ中
 央ヲ貫キ、上野ノ西ニ至リテ、服部川及北川ニ會
 シ、山城ニ入リテ、木津川トナル、
 上野及名張ハ山間ノ一小都會ナリ、
 物産ハ石炭、硫黄、磨砂、及伊賀焼ト稱ス、陶器
 類ナリ

伊勢國

南ハ志摩ニ隣リ、東ハ内外ノ海ニ臨シ、西北ハ紀
 伊大和伊賀近江美濃尾張ニ界ス、桑名員辨朝明
 三重鈴鹿河内奄藝安濃信志飯高飯野多氣度會
 ノ十三郡アリ、
 雲出川ハ源ヲ尾岳ヨリ發シ、東流シテ國ノ中央
 ヲ横斷シ、全國ノ大勢ヲ分シ、南ヲ南伊勢トシ、北
 ヲ北伊勢トス、其流辛洲ノ西ニ至リテ兩派トナ
 リ、内海ニ入リ、此海ヲ伊勢海ト稱ス、
 南勢壹志以下五郡ニハ、白志、矢鐵ノ諸山西北ニ聳ニ、又
 國見、大臺原山等アリテ、大和紀伊ニ連リ、殊ニ
 秀秀
 櫛田川ハ高見國見ノ兩山ヨリ發シ、東流シテ兩

旅トナリ、正流ハ、松坂、南ヲ過ギテ、内海ニ入ル、
支流ヲ被川ト云フ、大淀浦ニ注グ、
宮川ハ、大臺原山ヨリ出デ、東流シ、田丸ヲ過ギ、
大湊ニ至リテ、内海ニ入ル、

松坂及田丸ハ、國中最繁華ノ街市タリ、

此國、南境ハ、大洋ニ向シ、海濱ハ、嶮阻ニシテ、紀

伊ノ熊野一連ニリ、コトヲ南島ト云フ、

朝熊山ハ、志摩ニ跨ル高山ナリ、其東ニ二見浦ヲ

リテ、内海ニ臨ミ、有名ノ地タリ、

北勢ハ、連山ヲ負ヒテ、内海ニ臨ム、中間ハ、地勢率

平坦ニシテ、能褒野、廣瀬野、豊久野等アリ、

鈴鹿山西北隅ニ聳エテ、靈山、長野峠等、其南一連

リ、伊賀ノ境ニ亘レリ、其前ニ、經峰アリ、

冠岳、釋迦岳、藤原岳ノ山脉ハ、鈴鹿山ノ北ニ列シ、

近江ノ堺ヲ限リテ、美濃ニ連シ、

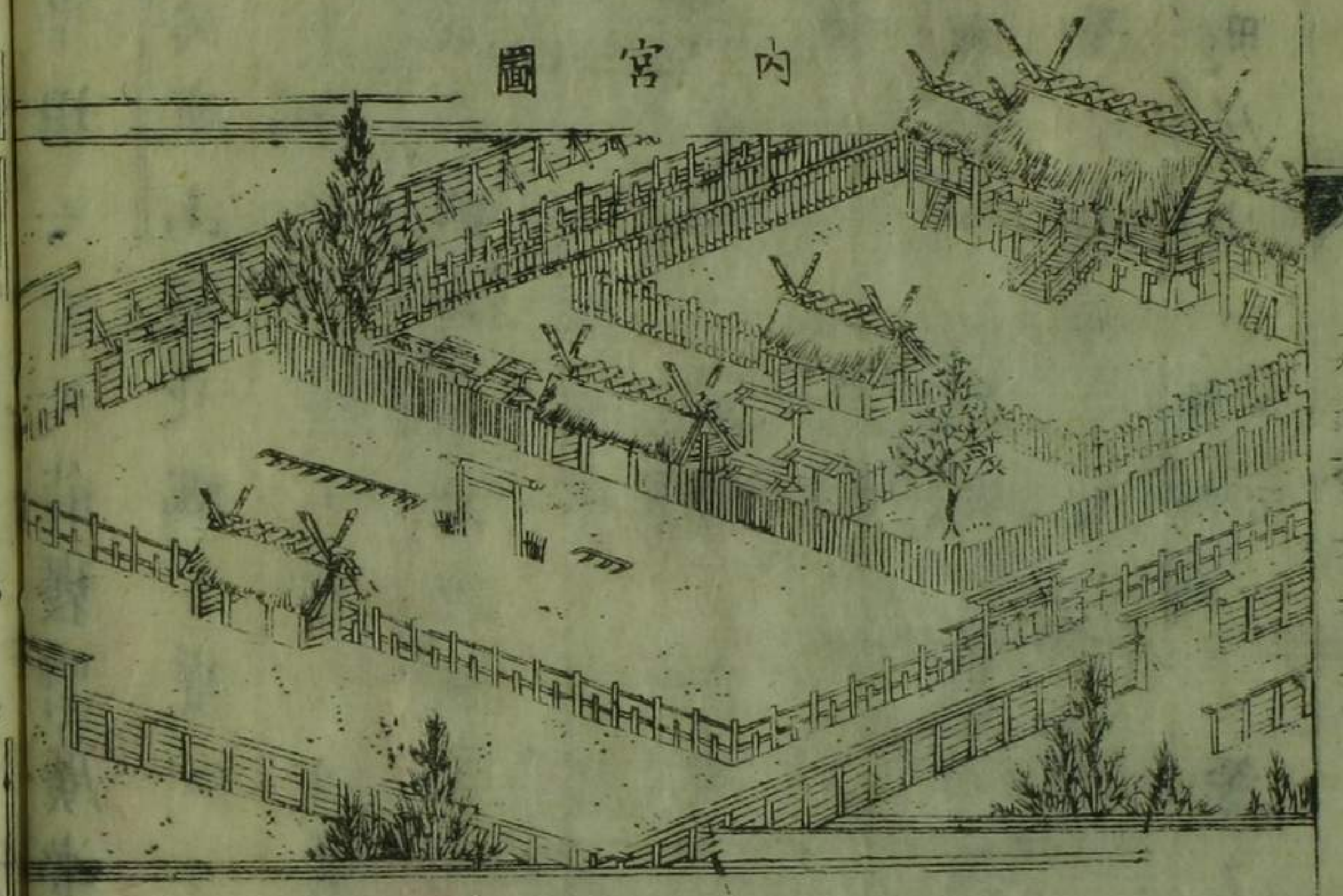
揖斐川ハ、美濃ヨリ来リ、多度山ハ、麓ヲ過ギテ、木

曾川ニ入ル、

木曾川ハ、尾張ノ境ニ浴ヒ、長島ヲ抱キテ、桑名

至リ、内海ニ入ル、

町屋川ハ、首辨川ト源ヲ藤原岳ヨリ發シ、關川



宮内圖

鈴鹿山ヨリ出テ、皆内
 海ニ入ル共ニ北勢ノ大
 川ナリ、
 三重川ハ冠岳ヨリ出テ
 テ、四日市ノ海ニ注グ塔
 世川ハ經峰ヨリ發シ安
 濃津ニ至リテ、阿漕浦ニ
 入ル、

桑名、四日市及安濃津
 ハ北勢ノ佳港ナリ、宇

治山田ノ郷ハ宮川ノ南ニ在リテ川内ト稱

少奈古市、川崎等ト街市相接テ、東ハ大湊ニ至リ、

南ハ朝熊山ニ連ル、

内宮天照皇大神宮ハ宇治ノ五十鈴川ノ上ニ在ル、

外宮豐受大神宮ハ山田ニ在リ、

物産ハ茶、油、蠟、木綿、津絞子、漆、形紙、蝦、鮑、時雨蛤、塗
 物、煙草、菜種、鹿尾菜、銅、石炭、及萬古燒ト稱ス、陶
 器ノ類ナリ、

志摩國

北ハ伊勢ニ界シ、其他ハ海ニ臨ム、答志英虞ノ

郡アリ

此國ハ、伊勢ノ南端ニ在ル最小ノ國ニシテ、岬自海中ニ突出シ、港灣頗多シ、

麥崎ハ、最南ノ岬ニシテ、西南ハ紀伊ノ沙御崎ニ對ス、其間ヲ熊野浦ト云フ、東ハ遠州灘ヲ隔テ、

伊豆ノ岬ト遙ニ相對ス、御座崎ハ、西ニ出タル岬ニシテ、其灣内ヲ立神

云フ、海岸ハ、西ニ連リテ、伊勢ノ南島ニ亘ル、安乘崎ハ、東ニ斗出シテ、的屋港ノ南ヲ限ル、

鳥羽、的屋、此ニ並ニ港有シテ、桃取、諸島、其前ニ羅列ス、港内

水深クシテ、殊ニ泊舟ノ宜シ、

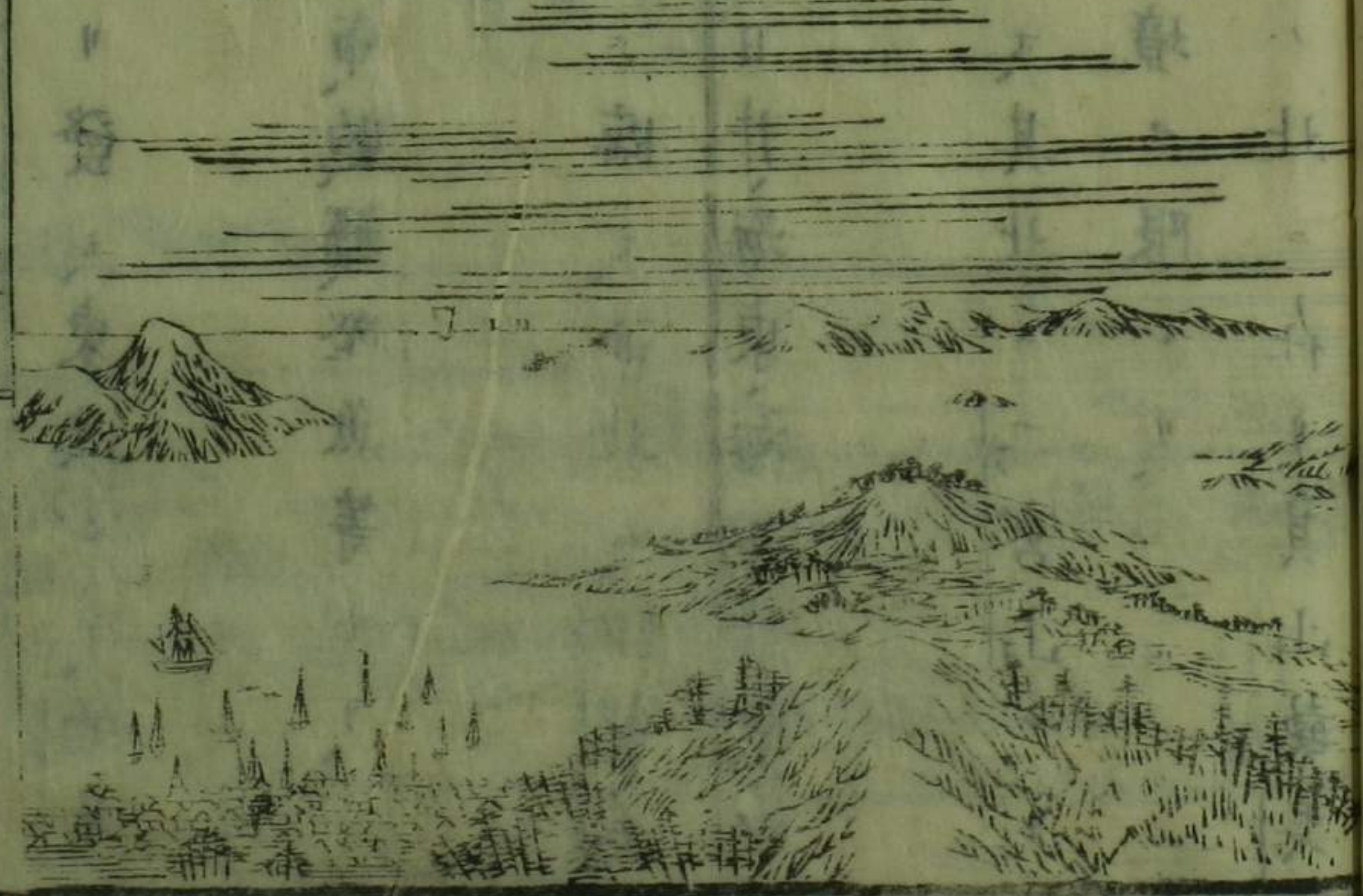
日和山ハ、鳥羽港ノ岸ニ聳ル、大參河ハ、伊良胡崎

ト相對シ、内海ノ口ヲ内ス、

朝熊山、山伏崎等ハ、西ニ連リテ、伊勢ノ境ヲ限レ

リ、

鳥羽港圖



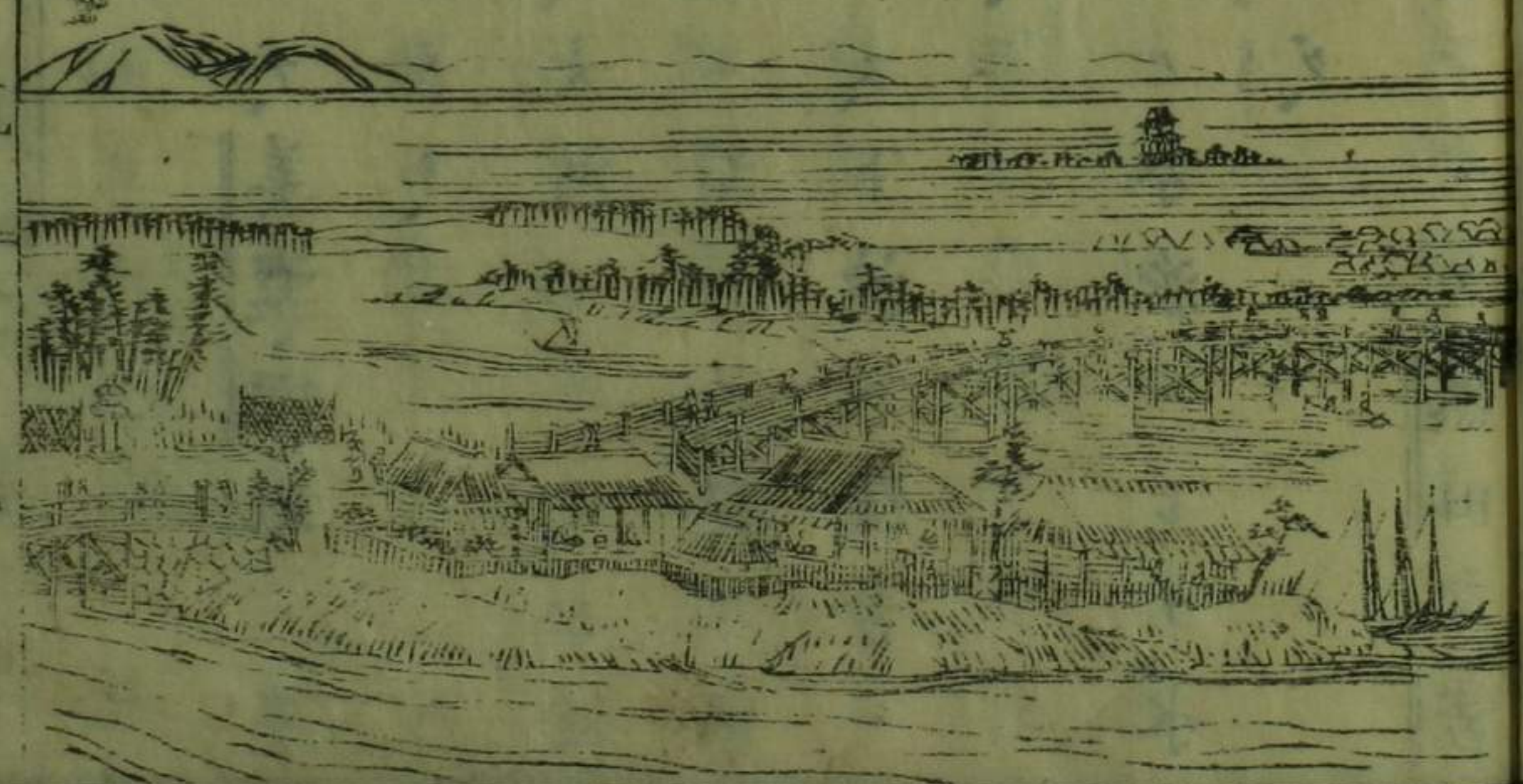
池田川ハ、源ヲ連山ノ間ヨリ發シ、東流シテ、的室
港ニ注グ、
物産ハ、石花菜、鹿尾菜、荒海布、鮑、鰯、鱈、魚等ナリ、

尾張國

東ハ、參河ニ接シ、南ハ、内海ニ臨シ、西北ハ、伊勢美濃ニ界ス、知多、愛智、丹羽、春日井、海東、海西、葉栗、中鳥ノ八郡アリ、
小牧山、平野ノ中央ニ特立ス、其北ニ宮山アリ、
テ、東、猿投山ニ連リ、參河ノ境ヲ限レリ、
繼鹿、犀山、白鳥山、又小牧山ノ北ニ在リ、其山藝美

濃ニ亘リテ、信濃ノ木曾山ニ連レリ、山間ニ入鹿池アリ、
一色川ハ、上流ヲ土岐川ト云フ、源ヲ美濃ヨリ發シ、西流シテ、内津川ヲ併セ、勝川トナリ、大野水邑ニ至リテ、參河ノ境ヨリ來レル、矢田川ト相會シ、更ニ南流シテ、枇杷島及

枇杷島橋岡



萬場ヲ過ギテ、海ニ入ル、

一色川ノ西北ハ、地形平坦ニシテ、美濃、伊勢ニ連

リ、木曾川ヲ以テ國ノ西境ヲ限レリ、

木曾川ハ、東流シテ犬山ニ至リ、大河トナリ、分流

數派、國中ヲ環流ス、正流ハ、國境ニ沿ヒテ、更ニ南

ニ赴ク、其分ル、者ヲ佐屋川トス、下流ハ復合シ

テ、再數派トナリ、各内海ニ入ル、

蟹江、日光等ノ諸水ハ、即木曾川ノ分派ニシテ、水

流縱横、共ニ南下シテ、内海ニ注グ、

鳴海瀉、熱田瀉ハ、并ニ内海ノ濱ニシテ、熱田ニ宮

ノ驛アリ、伊勢ニ渡ルノ要津ナリ、此驛ニ熱田神

宮アリテ、草薙、劍ヲ奉祀ス、

知多郡ハ、鳴海瀉ノ東ニ突出セシ大岬ナリ、最南

ノ地ハ、幡豆崎ト云フ、志摩ノ鳥羽ト、參河ノ伊良

胡崎ト、中間ニ出デ、内海ヲ東西ニ分ツ、東ノ

内海ヲ衣浦ト云フ、西ノ内海ハ、即所謂伊勢海ト

リ、

篠島、日間賀島、佐久島ハ、三岬ノ間ニ散在シ、地

形相近接セリ、名古屋ハ、有名ノ城市ニシテ、西ハ、枇杷島ニ至

リ、南ハ、熱田ニ連ル、其地、東西、兩京ノ中道ニ當
リ、海陸ノ運輸、共ニ便トルヲ以テ、商賈富庶、其
繁華、三府ニ亞ガリ、

物産ハ、水晶、瑪瑙、絹、木綿、鳴海紋、瀬戸焼、常滑焼、大
根、酒、醋、鐵物類、海鼠腸、名古屋扇等ナリ、

參河國

東ハ、遠江ニ接シ、南ハ、海ニ臨シ、西北ハ、尾張、美濃、
信濃ニ界ス、八名、設樂、賀茂、額田、碧海、幡豆、寶飯、渥
美、八郡アリ、

渥美郡ハ、東ヨリ西ニ出テタル、大岬ニシテ、尾張
ノ知多郡ト相對シ、内海ヲ包メリ、是即夜浦ナリ、

其西端ヲ伊良胡崎トス、志摩ト相對シテ、伊勢海
ノ口ヲナス、

田原山ハ、渥美郡ノ中央ニ峙チ、其南ハ、遠江灘ニ
面ス、

本宮岳ハ、國ノ中央ニ在リ、其東麓ハ、廣野遙ニ連
リ、豊川ノ岸ニ至ル、コレヲ木野原ト云フ、

石巻山ハ、豊川ノ東ニ聳テ、嵩瀨、鳥巢、諸山、共
ニ屏列シテ、遠江ノ境ヲ限レリ、

神田山ハ、本宮岳ノ北ニ在リ、煙巖山一名鳳來寺山ト相

對之、重山深嶺、其後一起
伏之、美濃、信濃ノ境ニ
亘ル、

矢矧川ハ、信濃ヨリ來リ、

北境ヲ環流シテ、足助川

ニ併セ、南ニ下リ、岡崎ヲ

過ギテ、内海ニ入ル、

大平川一名男川ハ、本宮岳ヨ

リ發シ、西流シテ岡崎ノ

南ニ至リ、矢矧川ニ入ル、

豐川ハ、神田山ヨリ發シ、長篠又邊ニ東境ヲ環流

シテ、吉田ニ至リ、内海ニ入ル、此三大川、並ニ有名

ノ流ニシテ、舊矢矧川ニ架スル所ノ橋、其長サ百

百八間、豐川ニ架スル所ノ橋、其長サ百一十間ヲ

ハ、但大平川ハ、二川ニ比スルハ、較小ニシテ、其橋

長サ五十間ニ過ギズ、

物産ハ、紙、木綿、生糸、漆、塗物、及、砥石、硝石、雲母、蠶、日

魚等ナリ、

遠江國

東ハ、駿河ニ接シ、南ハ、大洋ニ臨ミ、西北ハ、參河、信

岡崎城外矢矧橋圖



日本地理志卷之二

三

濃 = 界、榛原、周智、佐野、豐田、山名、城東、繁田、長上、
鹿王、引佐、濱名、敷智、ノ十二郡アリ、

秋葉山ハ、國ノ中央ニ聳エタル、大山ニシテ、其東
北ハ重嶺、攢峰、信濃ニ連リ、殆ド入跡ナキニ至レ
リ、

高天神山ハ、海濱ニ峙テ、高山ナリ、其東ニ布引

原、磐田、原ノ廣野アリ、

御前崎厩崎ハ、針浦南端ナル岬角ニシテ、外

洋ニ突出シ、一島、其前ニ當レリ、コレヲ沖、御崎ト

云ハ、海ヲ隔テ、伊豆ノ岬、及志摩ノ崎ト、東西

相對シ、水程七十五里、其

間此國ニ當ルヲ以テコ

レハ遠州灘ト稱ス、

天龍川ハ、信濃ヨリ來リ、

直ニ南流シ、秋葉山ノ

西麓ヲ過ギ、國ノ中央ヲ

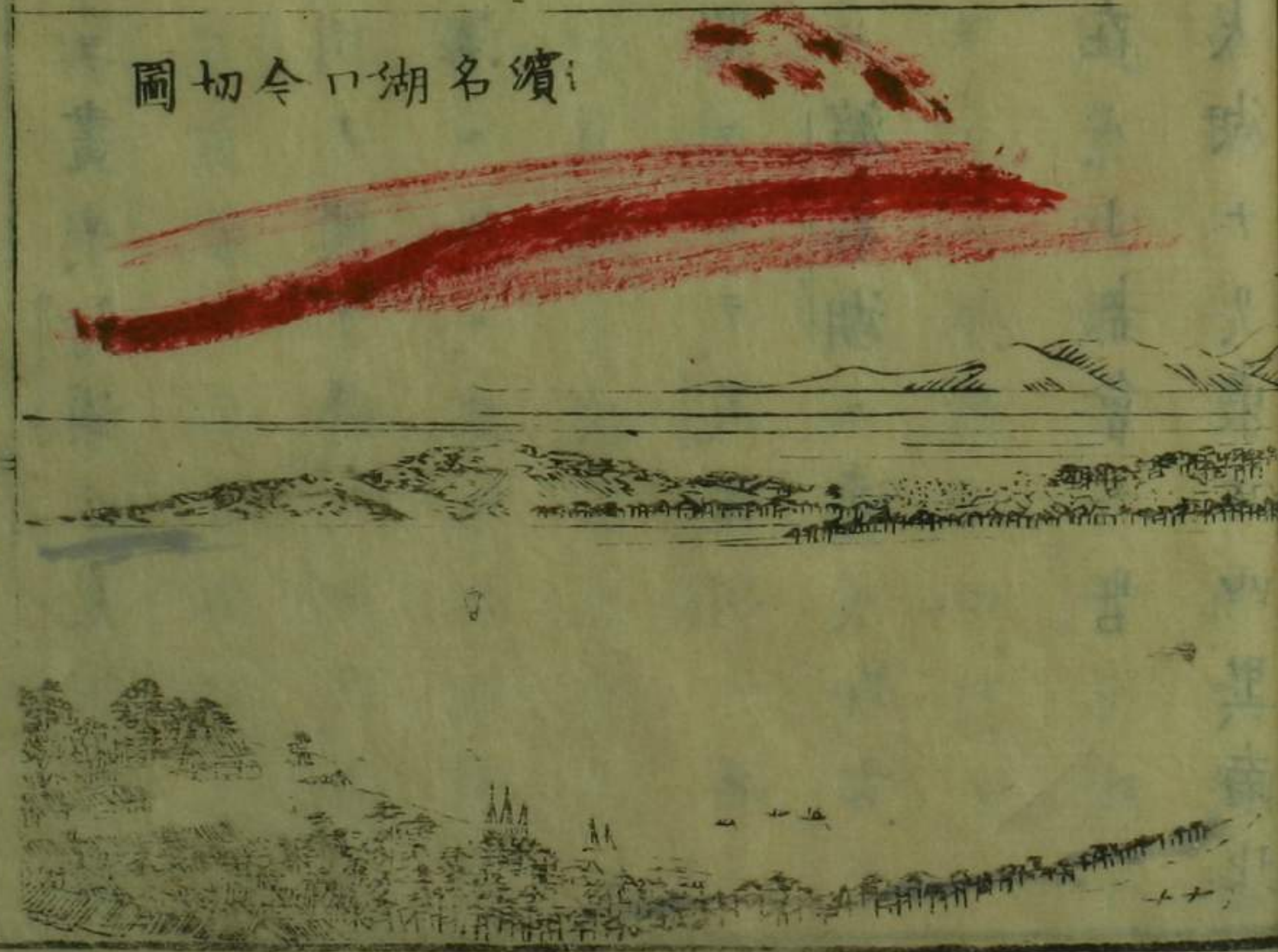
貫テ、分テ、大天龍、小天

龍、ニ流シ、掛塚、湊

一、至リテ、海ニ注ク、

大井川ハ、信濃ノ境ヨリ

濱名湖今切圖



發、南流、駿河ノ境ヲ畫リ、釘浦一至リテ、海

三日野川ハ、天龍、大井兩川ノ間ヲ過キ、大口、諸井

諸川ヲ併セ、南流シテ、海ニ入ル、其地ヲ福田、湊

云フ、

三方原、國中第一ノ廣野ニテ、天龍川ノ西ニ

在リ、南ハ、海濱ニ亘リ、西ハ、濱名湖ニ連ル、即古ノ

引馬野ナリ、

濱名ノ城市ハ、原中ニ在ル、小都會ナリ

濱名湖ハ、西南隅ニ在ル、大湖ナリ、東西四里、南北

五里餘、中ニ引佐細江、猪鼻湖ナリ、東ハ、佐鳴湖

通シテ、西ニ高師山峙テ、風景頗佳ナリ、古ハ湖水

一條ノ川トナリ、海ニ注ギレニ、明應年中、其間

地一里餘、地震ノ為ニ陷リ、潮水互ニ通ズルニ

因リテ、其地ヲ令切ト稱フ、

物産ハ、蜜柑、松茸、納豆、鮎、鰻、葛粉、木綿、葛布、塗物等

ナリ、

駿河國

東ハ、相模ニ接シ、南ハ、伊豆及海ニ臨シ、西北ニ遠

江、信濃、甲斐ニ界ス、駿東、富士、庵原、安部、志田、蓋頭

有度ノ七郡アリ、

富士山ハ、遠江、甲斐ニ跨リ、直立千二百丈餘日本

第一ノ高山ニシテ、四時白雪ヲ戴ケリ、

愛鷹山ハ、富士山ノ前面ニ突立シ、富士沼、其麓ニ

在リ、コレヨリ南、田子浦ニ至ルマデヲ、浮島原ト

云ス、

足柄山ハ、相摸ノ境ニ亘レル高山ニシテ、富士山

ノ東ニ連レリ

黄瀬川ハ、富士、足柄ノ山間ヨリ發シ、竹下ヲ過ギ、

南流シテ、沼津ニ至リ、伊豆ノ狩野川ニ合ヒテ、海

入ル、

富士川ハ、甲斐ヨリ來リ、富士山ノ西麓ニ沿ヒ、南

流シテ、海ニ入ル、水勢極メテ急ナリ、

大井川ハ、信濃ノ境ヨリ出デテ、遠江ノ境ニ沿ヒ、

南流シテ海ニ入ル、

富士、大井、兩川ノ間、川流極メテ多ク、皆奔流激湍

架スルニ橋ヲ以テスベカラズ、其中ニ最長ナル者ヲ

安倍川トス、

安部川ハ、甲斐ノ境ヨリ發シ、南流シテ、蘆久保

池、静岡ヲ過ギテ海ニ入ル、

江尾川、與津川、其源
北境ヨリ發シ、南ニ赴

キ、清見瀉ニ注グ、

清見瀉、田子浦ノ西濱

ニ在リ、薩埵山北岸ニ突

起シ、三保松原其南ニ横

ハリ白沙青松、海面ニ斗

出シテ、灣ヲナス、灣内ニ

清水湊アリ、

久能山ハ、清水湊ノ西ニ

聳エ海ヲ隔テ、伊豆ノ雲見崎ト相對シ、自

灣ヲナス、本昔、静岡ノ東ニ在リ、其山頂

静岡ハ、舊府中ト稱ス、城市繁盛ナリ、賤機山其

後ニ聳エ、東ハ、清水湊ニ連リ、風色絶佳、運漕

亦便ナリ、

物産ハ、興津鯛、蒲原鮎、漆器、竹器、紙、茶、太布、竹、砥石

蜜柑、香蕈等ナリ

甲斐國

東南ハ、武藏相模駿河ニ界シ、西北ハ、信濃ニ接

巨摩、八代、山梨、都留ノ四郡アリ、



全國富士山ノ陰ニ在リ、群山四境ヲ環リ、中間ハ地勢稍平坦ナリ、

金峰山ハ、北ニ聳ニ、信濃ニ跨リ、雁坂峠、其東ニ峙テリ、

八岳ハ、金峰山ノ西ニ在リ、八峰突起シテ、其山脈信濃ニ連レリ、

駒嶽、白峯、鳳凰等ノ諸山ハ、西境ヲ限レル峰嶺ニシテ、深山重疊、南七面、身延ノ諸嶺ニ亘レリ、

大目山ハ、大菩薩峠、及雁坂峠ノ南ニ峙テ、其山脈南ニ亘リテ、笹子、大石、十二岳等ノ諸嶺トナリ、富

士山ノ北麓ニ連レリ、

巨摩、八代、山梨三郡ノ水

四方ヨリ湊注シテ、皆笛

吹、釜梨ノ二川ニ入ル、笛

吹川ハ、源ヲ雁坂峠ノ西

ヲリ發シ、釜梨川ハ、源ヲ

駒嶽ヨリ發シ、七里岩ノ

下ヲ過ギテ、笛吹川ト相

會シ、南流シテ、大河トナ

リ、急湍直下シ、鰈澤ヲ經

猿橋圖



テ身延山ノ東麓ヲ過ギ、駿河ニ入ル、富士川是ナリ、

荒川ハ、金峯山ヨリ發シ、南流シテ、甲府ヲ過ギ、笛

吹川ニ入ル、

重川ハ、源ヲ大菩薩峠ノ南ナル、黒川山ヨリ發シ、

日川ハ、源ヲ天目山ヨリ發シテ、同ジク、笛吹川ニ

入ル、

鹽川ハ、八カ岳ノ水ヲ集メテ、韭崎ニ至リ、金梨川ニ

入ル、

蘆川ハ、精進本巢、川口諸湖ノ伏流ヲ導キ、市川ニ

至リテ、富士川ニ注ギ、早川ハ、白峯山ヨリ發シ、身

延山下ニ至リテ、金梨川ニ入ル、

甲府ハ、小都會ノ地ニシテ、市街頗繁盛ナリ、

都留郡ハ、相摸ニ接シ、天目山ノ山脈ヲ以テ、其西

ヲ限リ、連山四周、川流皆南ニ注ギ、地形風土、別ニ

一郷ヲ為スヲ以テ、稱シテ郡内ト云フ、

丹波川ハ、郡ノ北境ヲ流レテ、武藏ニ入り、多摩川

トナル、道志川ハ、南境ヨリ出テ、相摸ニ入ル、

桂川ハ、山中湖ヨリ出テ、都留、花咲ノ諸川ヲ併

セテ、亦相摸ニ入ル、此川ニ架セル橋ヲ、猿橋ト云

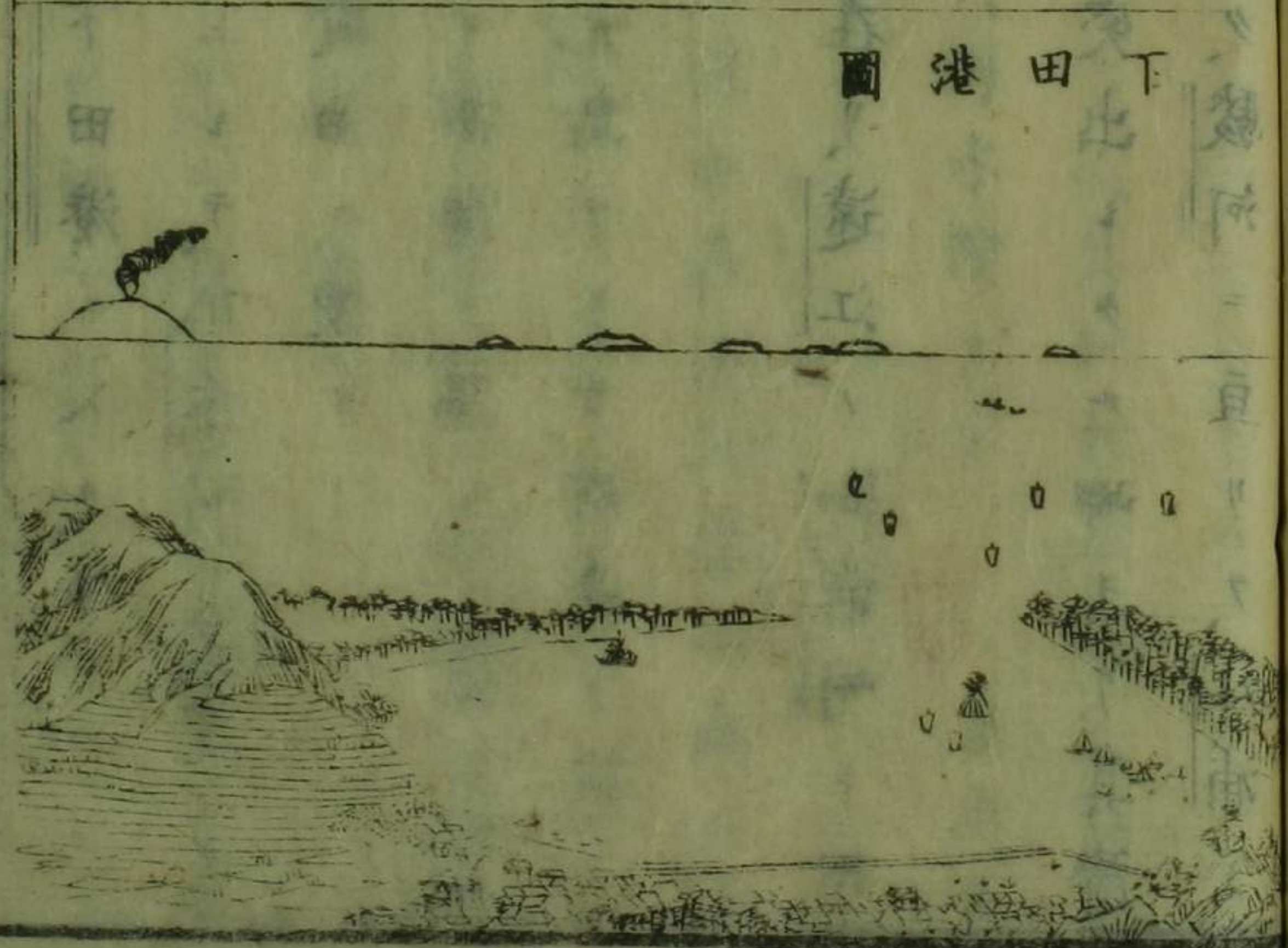
下流ハ即馬入川ナリ、
物産ハ、金、水晶、石炭、硯材、木、絹、紬、諸織物、梨、柿、葡萄
等ナリ、

伊豆國

北ハ相摸駿河ニ界シ、東西南ノ三面ハ海ニ臨ミ、
君澤、田方、那賀、賀茂ノ四郡アリ、
地形ハ、北ヨリ南ニ延キ、海面ニ斗出セハ、半島國
ナリ、西ノ海ハ、即遠州灘ニシテ、東ノ海ヲ相摸灘
ト稱ス、

天城山ハ、相摸ノ箱根足柄ニ連リテ、國ノ中央ニ
聳ユル高山ニシテ、西郡
ノ地、皆其麓ヲ繞レリ、
狩野川ハ、天城山ノ北麓
ヨリ發シ、北流シテ、北條
葦山ヲ過ギ、賀茂川ヲ併
セテ、駿河ニ入ル、
河津川ハ、天城山ノ南麓
ヨリ發シ、東流シテ、相摸
灘ニ注ク、
稻生澤川モ、亦天城山ノ

下田港圖



日本地理志卷之二

三九

南麓ヨリ出テ、南流シテ、下田港ニ入ル、
下田ハ、南端ニ在ル、一港ニシテ、爪木崎其東ニ突
出シ、灣内水深ク、船舶ノ碇泊ニ便ナリ、
石廊崎ハ、最南ノ岬角ナリ、西海ヲ隔テ、遠ニ志
摩ト相對ス、前面ニ神光元島アリテ、燈臺ヲ設ケ
タリ、
雲見崎ハ、石廊崎ノ西ニ在リ、遠江ノ御前崎ト相
對ス、

江梨崎ハ、雲見崎ノ北ニ、突出シタル岬ナリ、其灣
内ハ、船ヲ泊スルニ宜シク、駿河ニ亘リテ、江浦ト

稱ス、

熱海ハ、有名ノ温泉場ニシテ、其地相摸灘ニ臨ミ、
川名崎、其南ニ斗出シテ、海水灣ヲナシ、日金山、其
後ニ峙テ、眺望絶佳ナリ、
大島ハ、下田ノ東南十三里ニ在リ、三原山高ク、聳
エテ、常ニ硫烟ヲ噴ク、
新島ハ、大島ノ南十里ニ在リ、島中ニ宮塚山、向山
ノ二峰アリ、利島、式根島、此ニ屬ス、
神津島ハ、新島ノ正南八里ニ在リ、天井山高ク、聳
エテ、全峰白沙ヲ積メルガ如シ、

三宅島ハ神津島ノ東南十里ニ在リ、島中ニ噴火
山アリ、コレヲ雄山ト云フ、三倉島此ニ屬ス、
以上ヲ伊豆ノ七島ト稱ス、

八丈島ハ七島ノ正南ニ在リ、下田ヲ距ル島中ニ、

東山、西山アリテ、西山最高レ、小島、青島此ニ屬ス、

小笠原島一名熱ハ太平洋中ニ羅列セル群島ニ

レテ、其數大小八十九アリ、八丈島ヲ距ル北島南

島殊ニ大ナリ、

物産ハ、金、硫黄、小松原石、磐城石、八丈絹、樟、黄楊、諸
材、薪、炭、雁皮紙、椿油、堅魚、鮫、鮑、鰈、及、香蕈、山葵、海苔、

石花菜等ナリ、

相摸國

南ハ外洋ニ臨ミ、東ハ内海ニ接シ、西北ハ伊豆、駿

河、甲斐、武藏ニ界ス、足柄上、足柄下、津久井、愛甲、大

住、陶綾、高座、鎌倉、三浦ノ九郡アリ、

三浦郡ハ東南隅ヨリ海中ニ突出セシ一大岬ニ

シテ、其端ヲ三崎ト云フ、城島其前ニ當リ、此ヲ以

テ、海ノ内外ヲ分チ、東ハ安房ト相對シテ、内海

口ヲ扼シ、西ハ伊豆ニ向ス、此海即相摸灘ナリ、

浦賀ハ内海ニ臨メル、佳港ニシテ、觀音崎、横須賀

灣其東北岸ニ連レリ、
鎌倉ハ三崎ノ西北ニ在
リテ、外洋ニ面ス西ニ稻
村崎江島アリ、此地ハ源
頼朝以來世々ノ霸府址

ニレテ古蹟多シ

雨降山ト世ニ大山ト云フハ國ノ

中央ニ位セシ、高山ニ

テ山脈其後ニ連リ、武藏

甲斐ニ接ス

足柄山ハ駿河ノ境ニ連ル、高嶺ニレテ山脈南

ニ亘リ、箱根山ニ至ル、

箱根山ハ北足柄山ニ連リテ、伊豆ノ境ヲ擁ス、山

上ニ湖水アリテ、蘆湖ト稱フ、下流北ニ赴キ、復南

下ニテ小田原ヲ過ギ、海ニ入ル、コレヲ早川ト云

フ、早川ノ南岸ニ浴ヒテ、温泉所々ニ沸キ出ザル

テ、箱根七湯ト云フ、

桂川及道志川ハ甲斐ヨリ來リ、相會ニテ馬入川

トナリ、環流ニテ南ニ赴キ、外洋ニ入ル、此川國中

ノ最タルヲ以テ、或ハ呼ビテ、相摸川ト云フ、

馬入川ノ雨降山ヲ望ム



金目川ハ、雨降山ノ溪流ヲ集メ、南下シテ、大磯
注ク、花水川是ナリ、酒匂川ハ、足柄山ヨリ發シ、南
流シテ、小田原ノ東ニ至リ、海ニ入ル、
花水、酒匂兩川、海ニ入ル所ノ間ヲ、古ハ小餘綾磯
ト云フ、外洋ニ臨メル沙濱ニシテ、風色極メテ佳
ナリ、
物産ハ、堅魚、章魚、蝦、湯本細工、貝細工、小田原梅干、
鹽辛、水飴、山椒魚、紅花、根府川石等ナリ、

武藏國

東南ハ、下總、相模、及、内海ニ接シ、西北ハ、甲斐、信濃、
上野ニ界ス、秩父、多摩、高麗、兒玉、加美、那賀、榛、澤、階
羅、男、衾、比、企、大、里、横、見、入、間、新、座、埼、玉、足、立、葛、飾、豐
島、荏、原、都、筑、橘、樹、久、良、岐ノ二十二郡アリ、
武甲、三、峰ノ諸山ハ、正面ニ峙チ、峯嶺相重リテ、國
境ヲ擁ス、總テコレヲ秩父山ト云フ、
多摩川或ハ玉川ニ作ルハ、甲斐ヨリ來リ、秩父山ノ南ノ
過キ、東流シテ、羽田ニ至リ、内海ニ入ル、
多摩川以南ノ地ハ、岡陵起伏シ、山勢相重リテ、甲
斐、相模ニ連ル、甲斐ノ境ニ小佛峠ノ坂路アリ、
荒川ハ、信濃ノ境ヨリ發シ、秩父山ノ北ヲ過キ、屈

曲シテ東ニ赴ク其下流ヲ隅田川ト云フ

武藏野ハ多摩川荒川ノ間ニ在リテ西ハ秩父山ヲ限リ東ハ内海ニ至ル昔時ハ廣漠ノ荒原ナリシガ今ハ田畝闢ケ村市相連レリ入間川高麗川ハ廣野ノ間ヲ環流シテ共ニ荒川

多摩川ヨリ秩父山ノ望



荒川ヨリ東北ノ地モ亦平坦ニシテ窪下ノ地往々藪澤ヲナシ川道縱横ニシテ皆舟ヲ通ズベシ其中中川綾瀬ノ二川最運漕ニ便ナリ甘樂川ハ信濃ノ境ヨリ發シ上野ノ國境ヲ東流シテ利根川ニ入ル利根川ハ別レテ兩派トナリ支流ハ南ニ赴キ内海ニ入ル此水ヲ以テ下總ノ境トセリ東京ハ三府ノ一ニシテ内海ニ臨ミ隅田川ニ跨レル大都ナリ徳川氏府ヲ此地ニ開キシヨ

リ以來、二百七十年、稱
 シテ江戸城ト云フ、明
 治元年ニ至リテ、皇居
 ラ定メ、東京ト稱ス、
 都ノ中央ヲ、日本橋ト
 ナス、街市ノ間ニ、溝渠
 ヲ疏シテ、海水ヲ導キ、
 運漕ニ便ニシ、橋ヲ架
 シ、路ヲ造リ、車馬ノ往
 來ヲ通ス、日本橋ノ南



ヲ、京橋トス、其東南ニ、五市場アリテ、外國ト貿
 易ス、コレヲ築地ト云ス、其東北ヲ、隅田川ノ海
 口トス、俗此川ヲ呼ビテ、大川ト云フ、架スル
 六大橋、永代橋、新大橋、兩國橋、
 麩橋、大川橋、千住大橋、ヲ以テス、淺草、上
 野等ヲ公園トシ、四民群遊ノ處ト定メ、多摩川
 及井頭ノ、水ヲ引キテ、地底ニ水道ヲ通シ、街衢
 ノ間ニ井ヲ設ケ、コレヲ汲ミテ飲料トス、
 横濱ハ、五港ノ一ニシテ、羽田ノ南ニ在リ、海水
 灣入シテ、本牧岬、其東ニ突出ス、港内水深クシ
 テ、大艦巨船、常ニ輻湊ス、街衢壯麗、外國五市場

中、此地ヲ最盛ナリト
ス、

物産ハ、秩父絹、八王子織

物、玉川鮎、淺草海苔、苧、麻、

木綿、銅、石材、紫草、漆、革、漆

器、陶器、鍋釜類、白魚、團扇、

錦繪等ナリ、

安房國

東南西ハ、海ニ面ス、北ハ

上總ニ界ス、安房朝夷長

狹平群ノ東四郡ナリ、

全國山多ク、南ハ、三面共ニ海ニ臨ミ、沿岸皆絶壁

ニシテ、海中岩礁多シ、

洲崎ハ、西南ニ突出セル、岬角ナリ、相摸ト相對シ

テ、内海ノ口ヲナス、

館山、勝山ノ二港ハ、内海ノ灣ニ在リテ、其最泊舟

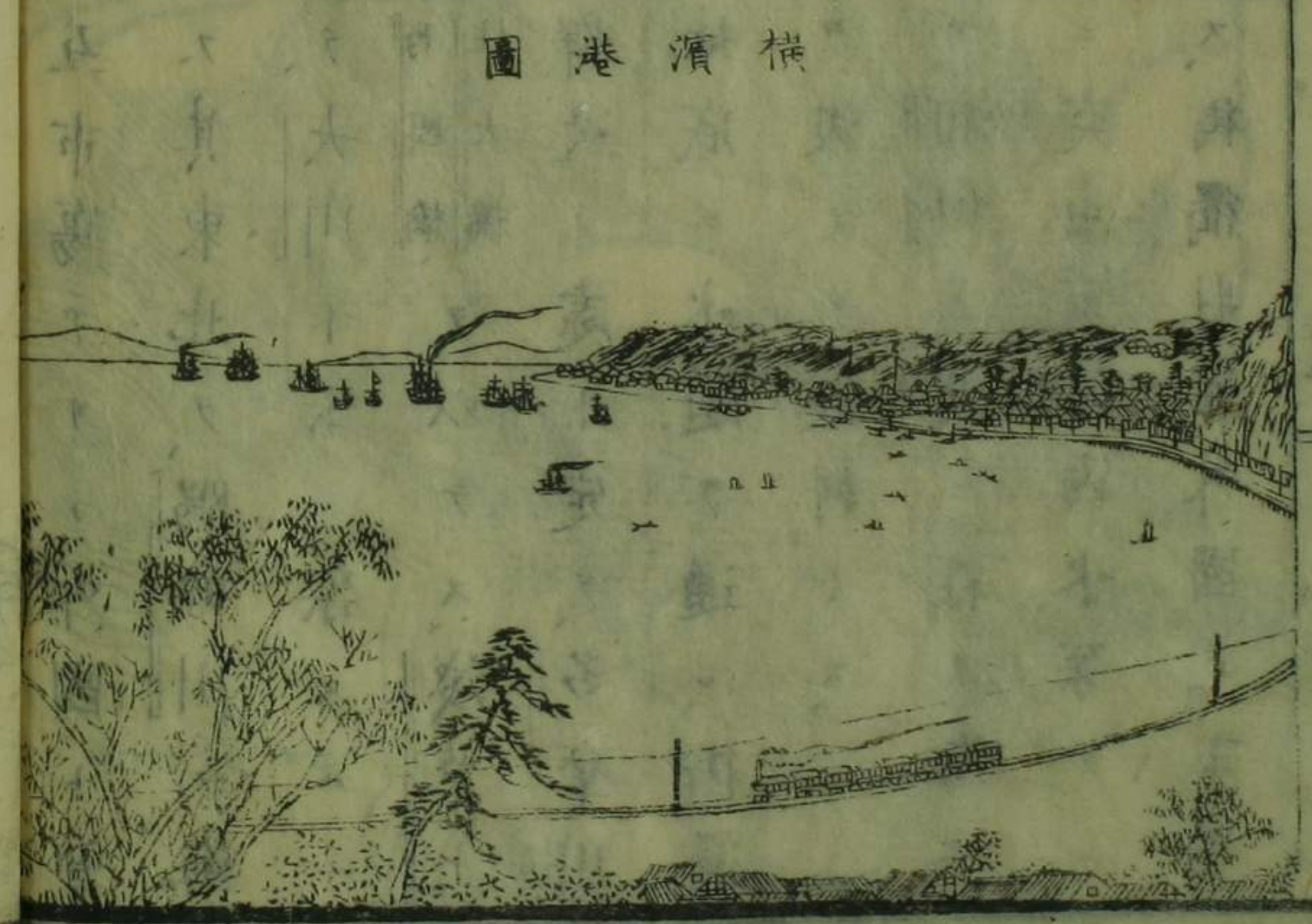
ニ宜シキヲ、館山トス、勝山ノ東ニ富山ニテ、接

景ヲ以テ著ハル、

鋸山ハ、内海ノ岸ニ聳エテ、上總ニ跨リ、峰形鋸ニ

如シ、故ニ此名アリ、

横濱港圖



横根、花立、清澄、諸山ハ、
 上總ノ境ニ連レリ、
 如茂川ハ、横根山ノ麓ヨ
 リ發シ、連山ニ沿ヒ、東流
 シテ、外海ニ入ル、
 湊川ハ、富山ノ陰ヨ發
 シ、西流シテ、館山ノ港ニ
 注グ、
 野島崎ハ、景南ノ岬ヲナリ、
 此ヨリ東ノ海ヒテ、房州

圖山録



沖ト稱フ、潮流其急ナリ、
 物産ハ、紫菜、水仙、木綿、蠟、牡蠣、磨砂等ナリ、

上總國

東南ハ外洋、及安房ニ接シ、西北ハ、内海、及下總ニ
 界ス、天羽、周准、望陀、夷隅、市原、埴生、長柄、山邊、武射
 ノ九郡アリ、
 地形、南ハ山嶺相連リ、北ハ原野平行ニシテ、東西
 共ニ海ニ臨ミ、安房ト接シテ、一ノ半島ヲナス、
 鹿野山、高岩山ハ、内海ニ臨ミタル高山ニシテ、其
 後面ハ、山嶺重疊、安房ノ鋸山ニ連レリ、

大東崎ハ大洋ニ突出シ
テ南ニ勝浦興津ノ二港
アリ此崎ヨリ北ノ海濱
ヲ九十九里ト云ス下總
ニ連リテ東大洋ニ面ヘ
リ

此國ニ川流數條アリ共
ニ源ヲ安房ノ境ヨリ發
ス大多喜川ハ東流シテ

大東崎ノ南ニ注ギ養老
小櫃小糸ノ諸川ハ皆西流シテ内海ニ入ル

富津洲ハ内海ニ斗出スルコト三里餘相摸ノ觀
音崎ト相對ス

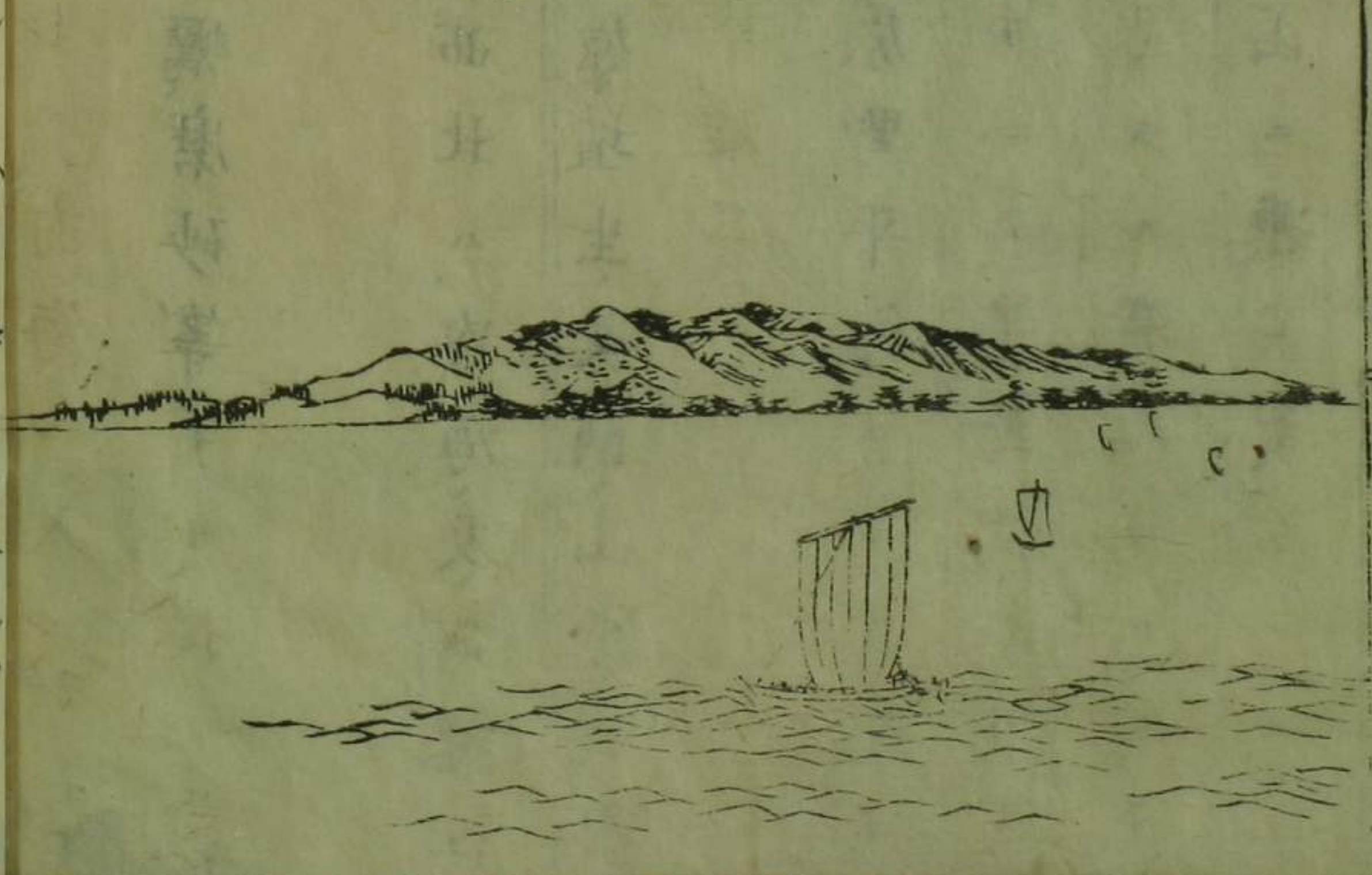
木更津五井ハ内海ノ濱ノ都會ニシテ舟楫ノ往
來常ニ絶エズ

物産ハ紅花茶海苔煙草木綿鯿等ナリ

下總國

東南ハ大洋及上總ニ接シ西南ハ上野武藏及内
海ニ連リ北ハ下野常陸ニ界ス葛飾相馬印幡千
葉埴生香取匝瑳海上豐田岡田猿島結城ハ十二

鹿野山圖



郡アリ

全國平坦ニシテ山ナク、原野殊ニ多クシテ、日本第一ノ平地タリ

小金原ハ、西境ニ亘リ、六方野ハ、南境ニ連ル、共ニ廣漠ナル大野ナリ、小金原ハ、舊牧場ヲ設ク、野馬ヲ育セシガ、近來漸々開墾ノ事一從フ、

仰幡沼ハ、國ノ中央ニ在リ、屈曲數里ニ亘ル、其他手賀沼、長沼等、共ニ大ナリ、諸沼ノ水皆北ニ流出シテ、利根川ニ入ル、

利根川ハ、又坂東太郎ト稱ス、武藏上野ノ間ヨリ來リ、關宿ニ至リテ、分レ

テ兩川トナリ、本流ハ東

下シテ、霞浦ノ下流ト會

シ、銚子港ノ口ニ注グ、コ

レヲ常陸ノ境トス、支流

ハ、南ニ赴キ、武藏ノ境ニ

沿ヒテ、行徳ヲ過ギ、内海

ニ入ル、

利根川ノ北、四郡岡田 田 猿 島

結、地ハ、常陸下野ノ間

銚子口圖



夾マリテ其境犬牙如ク相交レリ、絹川、小貝川、共ニ下野ヨリ来リ、環流分派シテ、各利根川ニ入ル

銚子ハ利根川ノ河口ニシテ繁華ノ港ナリ、大吠崎ハ東洋ニ突出シ、銚子ノ口ヲ擁ス、岩礁波上ニ時ヲテ舟行甚難ハ崎ノ南濱ハ即九十九里

物産ハ馬、鯔、鮭、茶、西瓜、佐倉炭、結城紬、銚子縮醬油、味噌、酒、行徳鹽等ナリ、

常陸國

東南ハ大洋及下總ニ接シ、西北ハ下野磐城ニ界

ス、久慈、多賀、茨城、鹿島、行方、新治、筑波、眞壁、信太、那珂、河内ノ十一郡アリ、

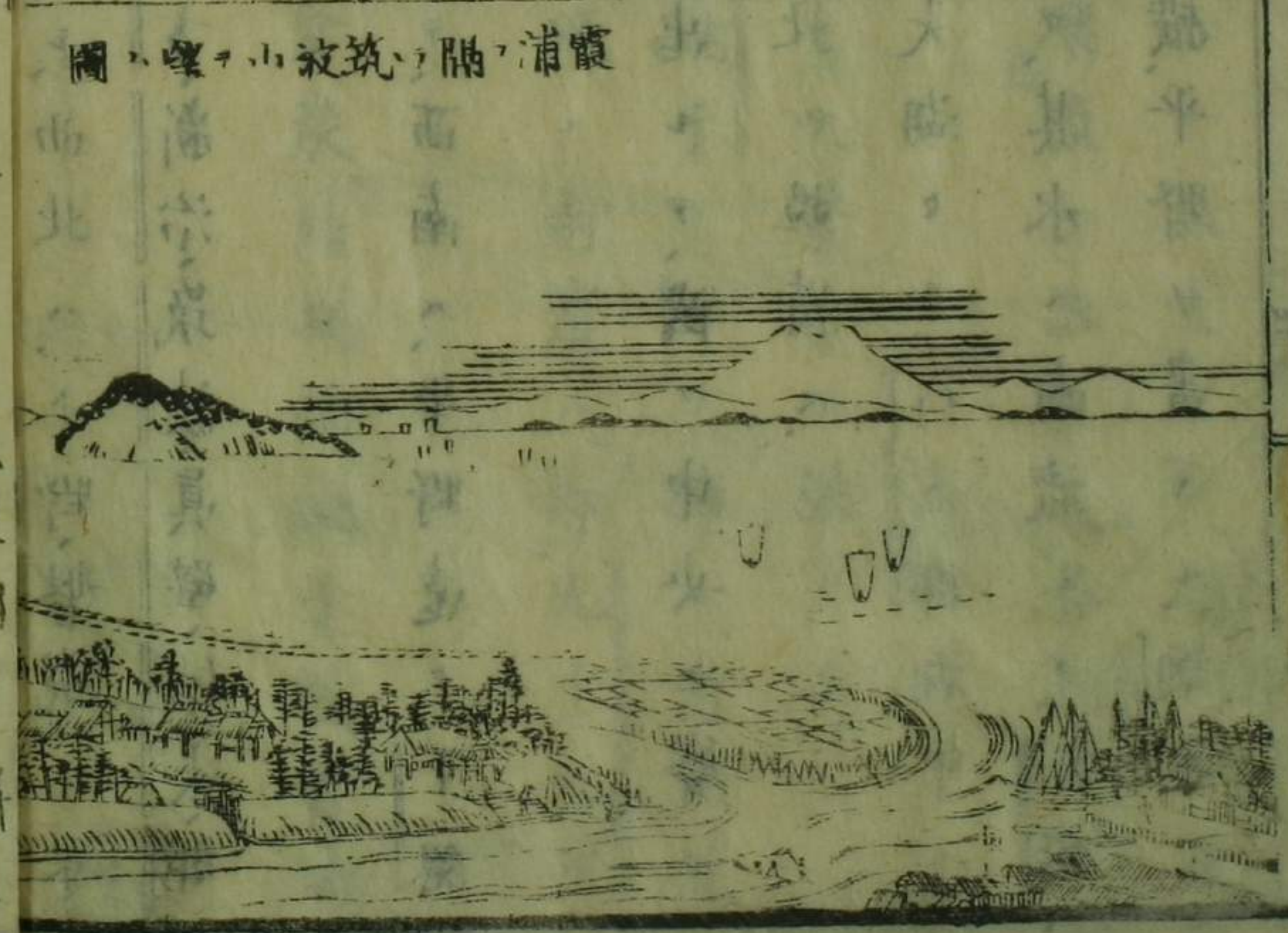
國ノ北境ハ山岳重疊シテ、西南ハ平野遠ク下總ニ連レリ、

筑波山ハ平野ノ間ニ突出シテ、國ノ中央ニ聳タリ、蘆穂加波ノ兩山、其北ニ竝峙ス、

霞浦ハ袤延十里、東方ノ大湖ナリ、行方郡湖中ニ斗出シテ、西浦北浦ヲ分ツ、其水ハ南流シテ、利根

川ニ入ル、此間ハ支流縱横、平野ヲ畫ギル、潮來

鹿島浦ハ、東洋ニ面ヒテ
 北浦ヲ背シ、其海濱北
 ニ亘リテ、那珂港ニ至ル
 那珂川ハ、下野ヨリ來ル
 東流シテ、水戸ヲ過ギ、千
 波沼、廣沼ノ水ヲ併セテ、
 海ニ入ル、河口ハ、即那珂
 湊ナリ、
 久慈川ハ、磐城ヨリ來ル、



彎流シテ、東ニ赴キ、太田ノ東ニ至リ、里川ヲ併
 テ、久慈浦ニ注グ、

金砂、月居ノ諸山ハ、久慈川、里川ノ間ニ聳エタリ、
 其東ニ高鈴山アリテ、高ク峙チ、大洋ニ臨メリ、
 八溝山ハ、磐城、下野ニ跨ル、大山ニシテ、連山其東
 ニ屏列シ、國境ヲ限レリ、
 鳥子山ハ、下野ノ境ニ聳ユル、高嶺ニシテ、山勢北
 ニ亘リ、八溝山ニ連ル、
 名古屋ハ、東北ノ界ニシテ、磐城ノ境ニ跨レル坂
 路ナリ、其關ハ、磐城ニ屬シ、古來有名ノ所タリ、

平瀨港ハ、鶉子崎ノ南ニ在リ、亦有名ノ港ナリト
 雖、港内甚狭クシテ、海船二三艘ヲ泊スルニ過ギ
 物産ハ、石炭、砥石、茶、桑、楮、鮭、鯉、鰻、煙草、紙、生糸、木綿
 銅器、漆器等ナリ、

日本地誌略卷之一終

面小字讀本
 引

此書、文部省御批校御改訂、小字讀本
 章蒙解、難、之字、譯、ナリ、
 解、毎課、圖、由、ナリ、
 傳、ハ、ナリ、
 讀、本、ハ、全、部、ナリ、

岡山直良著

全一冊

明治九年五月

精七圃藏

